

コロナ対策ウォーク その7 ～砧公園～

日時：2020年5月14日(木) 快晴 10:00～15:10 17,500歩

コース：自宅→<シャトルバス>→溝口駅→<大山街道>二子玉川11:00→高島屋→玉川病院傍→岡本公園→砧公園南門(東名高速道側入口)11:45 7,700歩→<昼食>12:35～公園内一周→環八道側正門→二子玉川交差点→高島屋植物園<シャトルバス>→高島屋→二子玉川駅→溝口駅→<シャトル無料バス>15:00→KSP前自宅 15:10 17,500歩

地図



10 ; 37 大山街道「大釜」

光明寺

二子玉川交差点



二子玉川中学校

静嘉堂文庫（岩崎弥之助）美術館出口



豪邸庭木 新緑が綺麗

東名高速道を潜り西門から入る 砧公園到着 11 ; 45 バラ園が素晴らしい！



モデルは？

モデル交代・・・が大きい！もっと歩きましょう！



11:46 公園内散策スタート



鳩カップル・・・餌頂戴！

12:03 弁当タイム



人出は少ない



新緑の木々は素晴らしい

木陰が沢山

地面すれすれの小枝古木も多い



裸で日光浴

芝生と木々、そして青空に白雲



おとこの台所桜新町毎年5月
弁当を作りここで昼食会飲み
会。今年はコロナウイルスの
為中止。
流石に今日は人出が少ない。

この木何の木、・・・気になる木・・・花も素晴らしい！

拡大して観ると・・・？



芝生、新緑青空に白い雲の流れ・・・

めずらしい白と紫の・・・



花の名前



公園内の小川「谷戸川」の水源

見えない貯水池

この公園には、はげしい雨が降った時、たくさんの雨水がいっぺんに「谷戸川」へ流れこまないように左の図のようなしくみがつくってあります。

雨が降りはじめると雨水は、地下につくった施設の中に入ります。この施設には、水を土の中に浸みこませるはたらきがあります。したがって少しの雨であれば、雨水はみんな土の中にしみこんでしまいます。しかし、たくさんの雨が降ってきた時は、水の浸みこみが間に合わなくなり、雨水はまわりにつくってある土手の内側に貯まり、公園の中が池のようになります。

雨がやむと水はゆっくりと時間をかけて少しずつ「谷戸川」に流れていきます。そして貯まった水はいつのまにかなくなってもとのとおりになり、池は消えてしまいます。

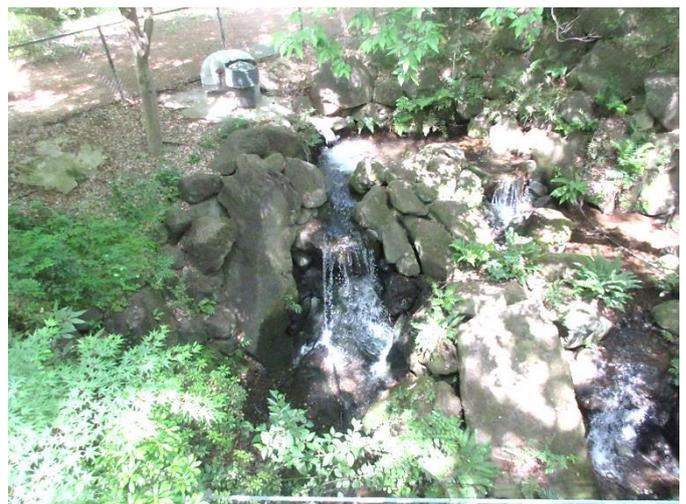
つまり「見えない貯水池」というわけです。

事業名 流域貯留浸透事業
 施設名 貯留浸透施設
 事業者 東京都建設局

根元で2又になった大木の根



谷戸川のせせらぎ流れ



谷戸川の吊橋を渡る



見事な桜の手(枝)を広げた数本の桜大木



変わった白いモニュメントと赤い花咲く・・・・・・・・何の木でしょう？



ここの子供遊び場にも赤いバラの花満開 正門到着 13:26 12,000歩 公園内6,300歩



8号線陸橋を渡り、東名高速道の下を潜り二子玉川へ向かう



二子玉川方面 途中高島屋ガーデンアイランドに立ち寄り、ここから無料送迎バスに乗り高島屋へ



13:50二子玉川駅到着も人少ない。
大井町線で溝口駅へ、マルエツで買い物、15:10バスで帰る。
17,500歩よく歩きました。

砧公園の歴史

砧公園のもととなる砧大緑地は、昭和15年、東京府が計画した6箇所の大緑地のひとつとして誕生しました。当時の東京は、大震災の復興事業もおわった昭和初期から人口の増加、マンモス都市化現象がおこりはじめ、都市環境は悪化しつつありました。そして都民（当時は府民）の、いまでいうレクリエーションへの要求が高くなり、これに対応するために、総合的な緑地計画が必要になってきたのです。それは総合的、本格的な緑地計画として日本最初のものでした。しかし、この緑地計画がすすめられている間に、日華事変が拡大しはじめ、国家防衛がいそぎ必要になっていました。そして昭和13年、緑地に防空的機能をもたせるよう示されたのです。これを機に、「防火緑地」や「軍事緑地」という言葉がつかわれるようになり、有事のさいには防空的役割もはたす大緑地をつくることを決定しました。そして、当時の情勢から、平和時、戦争時、すぐに対応できるように、砧大緑地にも野外訓練場としての機能をもたせ、有事には防空中枢部、平和時には慰楽休養（レクリエーション）として



もちいることができるようにしました。昭和16年になると、用地買収と同時に学徒動員によって整地をはじめ、その後、昭和17年には砧公園の整地が完了。さらにその翌年からは軍事訓練場、滑空訓練場、戦技術訓練場などの建設をはじめました。戦争の長期化により、食料事情にも影響をおよぼし、イモ類、マメ類、雑穀、そばなども作られるようになります。戦争がはげしくなると食糧の増産に協力し、戦争が終わってからは戦災の復興に役立てるため苗木の生産をしたのです。そして昭和19年になると戦局は緊迫し、砧緑地にも防空壕がつくられました。当時は、鉄カブトに防空服姿の人々が用賀方面から砧緑地へ避難してくるようになったり、また、ある時などは、B29が超低空飛行でとんできて、1500発近い焼夷弾を投下していったこともあるそうです。ちなみに当時、砧緑地では麦やイモを作っており、それらは上野動物園の動物飼料としても用いられました。当時は、人間でも食べることがむずかしい時代でしたので「国民でも栄養失調で倒れる人がいるのに、動物のエサどころではないだろう！」と警察に取り調べをうけたり、没収されてしまうこともあったそうです。上野動物園と砧公園とは、こんなところでつながりがあるんですね。

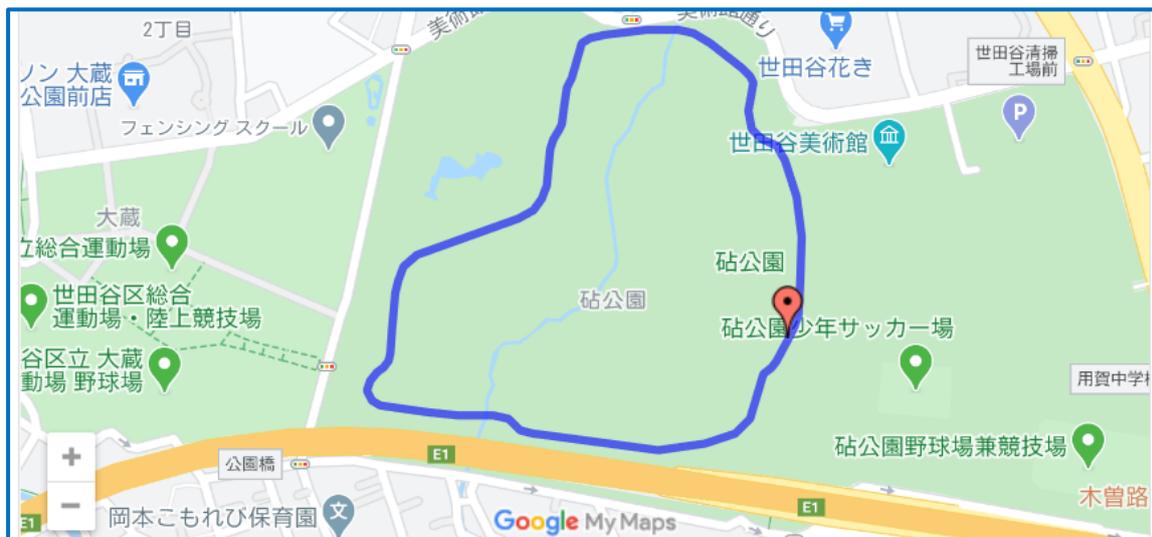
戦中はおっぱら食糧生産と野外訓練にもちいられていた砧緑地ですが、昭和20年に戦争がおわってみると、そこには広大な草地と農場がのこされていました。それからは、失業対策事業によって、整地などをおこない、昭和24年には野球場とキャンプ場が新設されました。当時の野球場というのはとても珍しかったそうです。

同時に、当時の公園職員は、『公園マン』としての職業意識に燃え「この砧緑地を廃墟の中に立ち上がっている都民にうるおいをあたえる場にしよう」と、一丸となって整備にとりくみはじめました。彼らは、建設設備する予算などまったくないにもかかわらず、移動動物園、樹木園、生産緑地の構想など、都民の誘致をはかろうと情熱をかたむけたのです。そのころの砧緑地内ではヤギや乳牛を飼育していたので、大草地に放牧し、その中でピクニックができるようにして、牛乳やヤギの乳をしぼって来場者に提供したりもしたそうです。戦後の混乱もすこしずつ復興の方向にむかいはじめ、人々の間にレクリエーションの要求が芽生えはじめてきました。レクリエーションへの欲求が高まるにつれ、東京都は、砧緑地をレクリエーション用に提供しようと計画をすすめ、昭和30年、『東京都砧ゴルフ場』として公用をはじめました。当時は、都立のゴルフ場ということで使用料も安く、会員制ではなく、公開制だったのでかなり好評だったようです。

ちなみに当時の使用料はコース1日一人300円。混合練習場1日一人120円、ドライバ練習場 ボール2ダース80円でした。そして昭和41年、公営のパブリックコースがひとつくらいあってもよいのではないかという声があったものの「より多くの都民の、レクリエーションの欲求にこたえるのが緑地本来の姿である」という意見が大勢を占め、砧ゴルフ場を廃止しました。その後、ゴルフ場跡地は、『砧ファミリーパーク』として開園をしました。

当時の東京は広い芝生で自由にあそべる広場がなかったので、開園と同時に都民がどっとおしかけ、あの広い芝生もいっぱいになったそうです。その後、現在のファミリーパークとして1998年に整備が完了するまで33年間もの年月が経過しました。

砧公園がいまの姿になるまでには、将来をみすえた都市計画や、悲しい戦争、そしてなにより、砧公園を愛する多くの方々の努力があったんですね。



編集後記：コロナ対策ウォークその7になりました。今日の砧公園は現役時代、世田谷区二子玉川2丁目に住んでいた頃と、退職後おとこの台所桜新町スタッフ時代自分達で弁当を作り花見会をやっていました。今年も5月7日(木)やる予定でしたが、コロナウイルスで中止になりました。元ゴルフ場であった名残が残っていますが履歴にも記してあるように1957年4月1日開園し、面積は391,262,26㎡と広い。コロナストレス解放と体力維持には最高の公園です。サイクリングコースは1,667m。

コロナウイルス下降傾向にありますが、完全復帰はいつになるのでしょうか。

皆さん家族一同体力維持に努め、お互い励まし合い楽しく明るく頑張りましょう！

近くに居住の小島さんレポートを見て、小生の近隣コロナ対策ウォークも新緑が綺麗な時節で登録しました。いつものボケ防止用日記帳「メモと写真」です。

コロナ対策近隣ウォーク 家内も元KWC会員でした。小生必ずアフターに参加するので止めました。その家内の提案で自宅近くの公園散策は今回で7回になりました。

① 4/9 (木) 多摩川右岸 ② 4/14 (火) 高津区市民健康の森 ③ 4/19 (日) ニヶ領用水路武蔵小杉
(ニヶ領用水路、久地円筒分水は3/12 (木) 彼岸桜が満開の時行きました)

④ 4/22 (水) 二子玉川公園 ⑤ 5/1 (金) 多摩川緑地公園 ⑥ 5/7 (木) 東高根公園

毎夕風呂上り体重と腹囲測定していますが、お陰様でメタボは維持出来ています。

ウォーキングはいいですね。早く皆さんと一緒にウォーキング再会出来るのを祈願致します。

いつものぼけ防止用日記帳「メモと写真」です。参考レポートです。

番外編：日常コロナ対策散歩

毎夕自宅周辺公園を約4,000歩しています。1982年創業の日商岩井マンション6階建と9階建2棟342戸の公園、1989年創業のKSP（かながわサイエンスパーク）公園、そして2016年創業の我がマンション公園、通常はお年寄の犬の散歩が多いが、現在コロナ対策で会社休業の為若夫婦、子供が多い。緑の木とベンチも有り休憩も出来るため、読書する人も見受けられるが、やはり子供と犬を連れて広場で遊ばせているのが目立つ。小生も公園の隅でストレッチをやりませんが気持ちがいい。

日商岩井マンション公園



左9階建て、右6階建



KSP公園



猫も散歩



人造池 小さいメダカが沢山いた



KSP公園



我がマンション公園、遊び場



滑り台と砂場、そして子供遊び広場



花壇



我々老人家族もおられるが、若い世代が多い。
犬も飼うことが出来るので、犬の散歩も見かけます。